

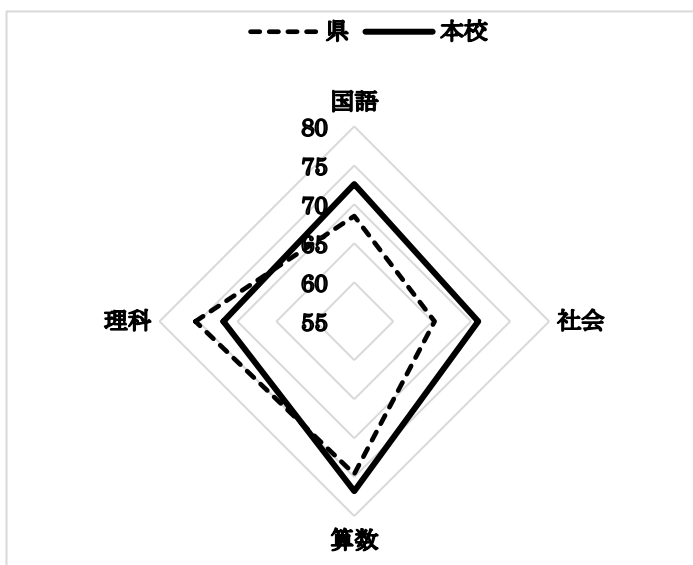
令和5年度「鹿児島学習定着度調査」の結果について（お知らせ）

名山小学校長 宮田 研郎

令和5年1月16日（火）、17日（水）に5年生を対象として実施した「鹿児島学習定着度調査」の結果についてお知らせします。本調査は、国語、社会、算数、理科の4教科について「基礎・基本」「思考・表現」の両面からその定着度を調査するもので、県下一斉に実施しました。

その結果と本校の課題、今後の対策についてお知らせします。

【参考：令和6年2月5日現在の県速報値（単位％）】



	国語	社会	算数	理科
県	68.5	65.3	74.6	75.4
市	68.5	65.0	74.0	75.5
本校	72.6	70.9	76.8	71.8

【本校の課題と今後の対策】

教科	成果や課題	対応策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○県の平均を約4.1%上回っており、指導の成果が表れている。 ●長い文章を読み取ることや、文章の中から必要な情報を取り出す力を付けていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主述を整える、つなぎ言葉や字数制限を意識して文章を書くことに慣れさせる。 ・単元に合わせた並行読書や司書教諭との連携を通して読書指導を充実していく。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○県の平均を約5.6%上回っており、指導の成果が表れている。 ●資料から情報を読み取り、社会的事象と関連付けて表現する力を付けていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業において、資料から読み取れることを整理する時間を確保する。更に、整理したことを基に、文章にしたり、発表し合ったりすることで、考える力と表現する力を高めていく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○県の平均を約2.2%上回っており、指導の成果が表れている。 ●問題場面を把握し、数量の関係を線分図や数直線、グラフに表現したり、読み取ったりする力を付けていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題場面を正しく整理したり、解決したりするために必要な条件を言葉や図や表、グラフで表現する活動を多く取り入れる。 ・今、何を求められているかを明らかにしながら問題解決にあたらせる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○県の平均を約3.6%下回っている。 ●理科の用語確認を徹底することと、実験結果を読み取る問題に慣れさせることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察をする際は、使用する器具の名称、使い方、観察方法を十分に確認させ、いろいろなパターンの問題にふれさせる。